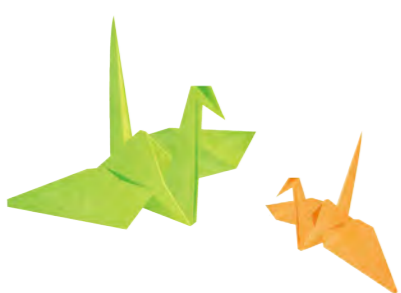


**南城小学校6年 小原杏さん**  
「安らかに眠って下さい。過ちはくり返しませぬから」  
この言葉の意味について語って下さったのは広島に原爆投下された8月6日の4週間前に生まれ被爆された宇佐川弘子さんでした。戦争や原爆・核兵器に纏わる恐ろしく悲しい話の数々が聞いている間は体の震えが止まらず涙をこらえるのに必死でした。また広島だけでなく私の住む花巻にも原爆投下により死傷された方がいらしたことも初めて知りました。私の母方の曾祖父も東京から召集された戦争経験者で生前、祖母が何度戦争の話聞いても話すことはなかったそうです。曾祖父の見た光景もきつと悲惨な現状だったと思います。  
私はこの学習会で前よりもっと非核平和の大切さを知ることが出来ました。一日も早く世界全体から戦争が無くなる事を祈ります。



▲陸軍少年兵召募ポスター(花巻市博物館所蔵)

**矢沢小学校6年 大信田純平さん**  
ぼくは、この学習会で、放射線のことを学びました。放射線を浴びた人は、すぐに症状が表れるわけではないものの、亡くなってしまうこともあると聞きました。このことから、何が原因なのか分からずに亡くなっていた人もいるのではないかと思います。  
ぼくは、ただ戦争といっても昔の出来事のように考えていました。しかし、自分が住んでいる花巻でも空襲があったと聞いて、他人事とは思えませんでした。  
戦争のことを考えると心が痛みますが、戦争を経験している人はもっと痛むのだろうと思います。このような辛い思いをする人がいなくなるよう、戦争のない世の中を望みたいです。



**宮野目小学校6年 小田島杏梨さん**  
非核平和学習会に参加して、広島や長崎の当時から現在までの人々の思いがよく伝わりました。心に残ったことは、原爆についてです。落とされた原爆は、熱線、爆風、放射線といった三つのものがふくまれていたことが分かりました。たった1発の爆弾で35万人いた広島市の人口も14万人に減ってしまっただけを知って、もう二度と戦争をしてほしくないと思いました。今も戦争している国はあるけど、いろんな国が仲良くして、原爆で亡くなった人達の思いが受けつがれていくといいなと思います。私は鶴を折りました。

**花巻空襲**：昭和20年8月10日、米軍機が花巻駅前を中心に機銃掃射、爆弾投下による激しい攻撃を展開。投下された爆弾は20発以上、犠牲者数は約50人(正確な死者数ははっきりしていません)



▲非核平和学習会の様子

**笹間第一小学校6年 小原花夏さん**  
今回の非核平和学習会で学んだことは二つあります。  
一つ目は、広島県と長崎県に投下された原爆についてです。どちらもたくさんの方の被害をおよぼしました。原爆による被害では建物をこわしたり、目に見えないおそろしさがあつたりすることを学びました。  
二つ目は、花巻空襲についてです。花巻駅周辺および花巻中心部を襲った米軍機による爆撃です。多くの人が犠牲となり、沢山の世帯が2日間にわたり、燃え続けたことにおどろきました。  
今回の学習会で初めて知ることがたくさんありました。これからも、興味をもって平和と戦争について学んでいきたいです。

**太田小学校6年 佐達瑠杜さん**  
ぼくは、非核平和学習会に参加して、原爆によって数えきれない人が亡くなって、行方不明の人もたくさんいて今では想像できないくらいに地獄になっていてこわかったです。核実験の映像で、原爆がどれほどおそろしい物かわかりました。原爆のリトルボーイは、その名前にふさわしくない破壊力で広島のみならず、長崎の原爆は、ファットマンと違って、大きな被害をだし、とてつもなくおそろしい破壊力だったのがわかりました。そんな破壊力だったならコアも大きいと思ったらピンポン玉くらいに大きさと聞いてびっくりしました。ぼくは、これから戦争がなく平和な毎日が続けばいいなと思っています。

花巻市は非核平和都市宣言のまち

# 平和の尊さを考えてみませんか

【問い合わせ】本館総務課(☎41-3506)

**非核平和都市宣言**  
本市は、全ての核兵器の廃絶と軍縮が推進されることを強く願い、平成18年3月に「非核平和都市」を宣言しました。市では、この宣言の理念を推進し、市民の皆さんの非核平和に対する意識の醸成を図るため、さまざまな活動を行っています。

**非核平和学習会を開催しました**  
私たち一人一人は、原子爆弾投下の様子や被爆体験などを認識するとともに、若い世代に伝え、核兵器のない、戦争のない平和な世界の実現に向けた意識の醸成を図らなければなりません。  
市では、市内の小学五・六年生を対象に非核平和学習会を開催。学習会では、広島から講師をお呼びし、一瞬にして多くの人の命を奪った原子爆弾の恐ろしさや戦争の悲惨さ、平和の尊さについて考える学習と、花巻市博物館による花巻空襲に関する講座を行いました。  
この学習会に参加した子どもたちの感想文の一部を紹介します。

**花巻小学校6年 山田怜依さん**  
私は、戦争について勉強して、たくさんの方が辛い思いをされたことを改めて知ることができました。  
広島県で、1945年8月6日の午前8時15分頃、米軍によって原子力爆弾が投下され、花巻でも同じ年の8月10日に米軍によって爆撃されました。爆弾は、重さ約230キログラムで、爆発による穴は、直径3〜10メートル、深さ1.5〜2メートルの大きな穴になったそうです。自分の住んでいる場所でもこのようなことが起きたと思うととてもこわいです。  
今日は、犠牲になった方を想い、平和を考える時間となりました。

花巻市  
非核平和都市宣言  
(平成18年3月13日議決)

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。  
しかし、今なお、世界各地では悲惨な戦争があるとをたえず、また、核兵器の存在が人類の生存と平和に大きな脅威をもたらしています。  
私たちは、世界で唯一の核被爆国民として、地球上で二度と核兵器による惨禍を繰り返さないため、その悲惨さを全世界へ訴えていく重要な役割を担っています。  
花巻市民は、日本国憲法の基本原理であり、人類共通の願いである恒久平和に向けて、非核三原則を遵守し、全ての核兵器の廃絶と軍縮が推進されることを強く願い、ここに「非核平和都市」を宣言します。

**桜台小学校6年 寺林瑠泉さん**  
私は、非核平和学習会を通して、核兵器のない世界がどれだけ大切かについて初めて知り、そのことについて考えました。  
原爆は、爆風や熱線で、その場にいた人、放射線で、その場にいた人以外にもたくさんの方を苦しめたということが分かりました。また、昔アメリカで行われた核実験の映像を見ました。その時は言葉を失いました。家を一瞬で粉々にし、塔を倒すほどの威力をもっていたからです。このようなおそろしい爆弾が今世界に12,705発あると知り、ショックを受けました。  
核兵器のない世界を目指すには、未来を担う私達が、原爆の悲惨さや平和の尊さ、大切さを知って、次の世代に伝えていくことが大切だと思います。

**湯本小学校6年 大澤智志さん**  
非核平和学習会に行つて心に残ったことは、原子爆弾と広島についてです。話を聞いて、ぼくはとても悲しくこわかったです。何の罪もない人々がたった1発の爆弾によってたくさん亡くなり、長い時間苦しんできたからです。  
非核平和学習会で学んだ核の怖さや戦争での大きな傷痕について忘れるのではなく、みんなに伝えて平和について考え活動していくことが、戦争の抑止力となると思います。積極的に戦争のない世界について話し合い、考えを深めていきたいです。

**湯本小学校6年 大澤智志さん**  
非核平和学習会に行つて心に残ったことは、原子爆弾と広島についてです。話を聞いて、ぼくはとても悲しくこわかったです。何の罪もない人々がたった1発の爆弾によってたくさん亡くなり、長い時間苦しんできたからです。  
非核平和学習会で学んだ核の怖さや戦争での大きな傷痕について忘れるのではなく、みんなに伝えて平和について考え活動していくことが、戦争の抑止力となると思います。積極的に戦争のない世界について話し合い、考えを深めていきたいです。